

会 議 録

- | | |
|-------------|--|
| 1 会 議 の 名 称 | 令和7年度第1回総合教育会議 |
| 2 開 催 日 時 | 令和8年3月10日(火)
午後4時から午後5時まで |
| 3 開 催 場 所 | 熊取町役場北館3階大会議室 |
| 4 議 題 | 熊取町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について |
| 5 公開・非公開の別 | 公開 |
| 6 傍 聴 者 数 | 0人 |
| 7 審議会等の概要 | 次のとおり |

○事務局から資料の説明後、議題についての意見交換

■委員からの主な意見

- ①本計画の策定以前から教員の働き方改革については必要とされているが、現状や課題等は把握しているのか。
 - ②一般的に許容される限度を超える過剰な要求をする保護者は存在するのか。
 - ③教員がどのような事に時間を要しているのかデータによる分析は実施しているのか。
 - ④業務を分類化する等、教員の負担をなるべく減らし、データによる現状把握をしなければ対策は難しい。
 - ⑤民間では生成AIの活用が進んでいるが、実際に本町で生成AIを使いこなせる教員は何人いるのか。また、教員に向けた生成AIに関する研修は実施しているのか。
 - ⑥部活指導の地域移行については教員の負担軽減が図れる一方で、部活動指導がやりたくて中学校教員を志す人も一定数いるので慎重に実施すべきである
- *教員の働き方改革は大事であるが、子どもと接する時間を減らすのは良くない。
 - *教員が精神的に体調を崩す前に見つけ出し、ケアできる体制を整備すべきである。
 - *教員に保護者からの相談が集中しないように保護者同士が助け合える研修会等をやっていくのも大事である。
 - *授業参観以外で普段の教員の姿を見学できる機会を作ることで教員の頑張りが保護者に伝わり、教員への苦情は減ると思う。

■委員からの主な意見に対する事務局の回答

- ①中学校では部活動指導により在校時間が多くなっている。部活指導員を配置したクラブにおいては時間の削減ができていますが、全てのクラブに指導員を配置できていない。
また、小中学校共通でスクールサポートスタッフによる支援もあるが授業準備や保護者対応に時間を要している傾向である。
- ②学校側との認識の違いによって対応に時間を要する場合もあるが、スクールロイヤーに相談しながら適切に対応している。
- ③残業の申告による教員の負担も考慮し、教員が何をするために残業をしているのかはデータによる分析はできていない。
- ④現状把握による負担は増えるが課題を解決するためにデータ分析は実施していくべきである。
- ⑤個々で使用している教員はいるが、正確な人数は把握できていない。生成 AI に特化した研修は実施していないがコンピューター全般に関する研修は実施している。
- ⑥地域移行については令和 8 年度から有識者を集めて会議を設立し、町立学校の教員、保護者、大阪体育大学の教員等で議論を行う予定である。

8 審議会の情報	名称	総合教育会議
	根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (昭和 31 年法律第 162 号)
	設置期間	平成 27 年 4 月 1 日から
	所掌事項	教育大綱の策定に関する協議等を行う。
	委員数	6 人

9 担 当 課 総合政策部企画財政経営課